

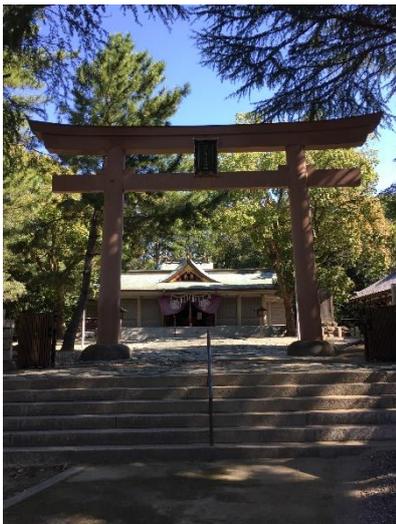
和歌山市の魅力

3 班

和歌山市の偉人について

和歌山市の魅力の1つは有名な偉人がいることです。その1人が南方熊楠です。熊楠は和歌山城下橋丁で生まれました。雄小学、和歌山中学校を経て上京し、共立学校を経て大学予備門、現在の東京大学に入学します。同校退学後の同20年正月に渡米し、シカゴの地衣類学者カルキンスに師事して標本作成を学びました。

その後、キューバを経てイギリスに渡り独学で研究を続けました。帰国後も研究を継続し、



日本人で一番多くの論文が採用されています。熊楠は、粘菌の研究だけでなく色々な分野の論文を多く発表し、その広範な学識のため博物学者と評されています。

帰国後しばらくして、田辺に居を構え植物の採集に熱中するが、明治政府がうちだした「鎮守の森」の伐採で、環境保護運動といえる反対運動に力をいれます。その後も、理想とする環境のあり方を訴えつつ、大学者として研究生活を送りました。熊楠は生涯を民間人として過ごしましたが、その学識は無視しがたく、昭和天皇和歌山県行幸に際しては、求められて進講を果たしました。

～感想～

私は和歌山市の魅力はすばらしい偉人がいることだと思います。私は南方熊楠さんが和歌山の人だと知って、とてもおどろきました。魅力は他にもたくさんありますが、南方熊楠や陸奥宗光などの教科書にもものようなすばらしい偉人たちが和歌山の人だということ、たくさんの人に知ってほしいです。

そして、和歌山のたくさんの魅力をたくさんの人に知ってほしいです。

